

## 第2章 結果

### 第1節 院内学級担当教員へのアンケート調査の結果

#### 1. 対象学級 64学級 (N=64)

##### (1) 学級所在都県

調査対象学級の所在都県は、右のようであった。

Table1-1-1 所在都県

所在地	学級数
青森県	6
岩手県	1
山形県	1
千葉県	1
東京都	7
神奈川県	11
新潟県	4
兵庫県	5
奈良県	1
鳥取県	2
島根県	3
岡山県	10
山口県	2
愛媛県	3
福岡県	6
佐賀県	1
合計	64

##### (2) 学級設置者

設置者別の数は以下のようであった。

Table1-1-2 設置者別の数

設置者	学級数
県	3
市	58
区	2
町	1
合計	64

##### (3) 本校校種

どの学校種に属しているかは、以下のようであった。

最も多かったのは、小学校の特殊学級としての院内学級であった。

Table1-1-3 本校校種別数

本校校種	学級数
小学校	42
中学校	16
養護学校	6
合計	64

(4) 常勤教員数別学級数

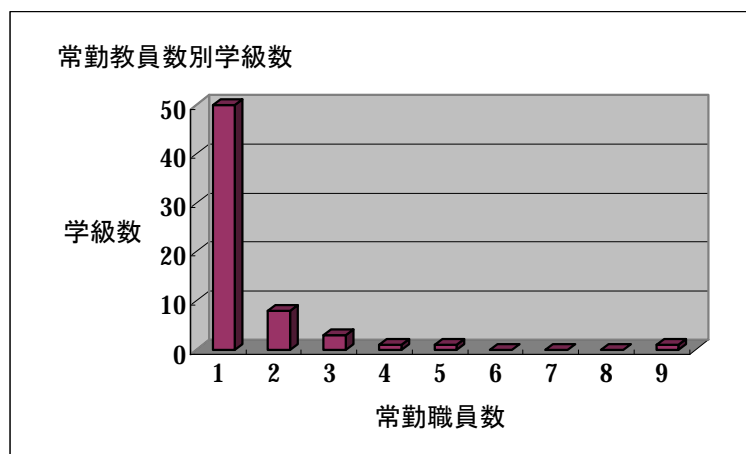
常勤教員数による学級規模は以下のものであった。

一人担任の小規模学級が圧倒的に多かった。

Table1-1-4 常勤教員数別学級数

常勤教員数	学級数
1	50
2	8
3	3
4	1
5	1
6	0
7	0
8	0
9	1
合計	64

Fig1-1-1



(5) 児童生徒在籍者数別学級数

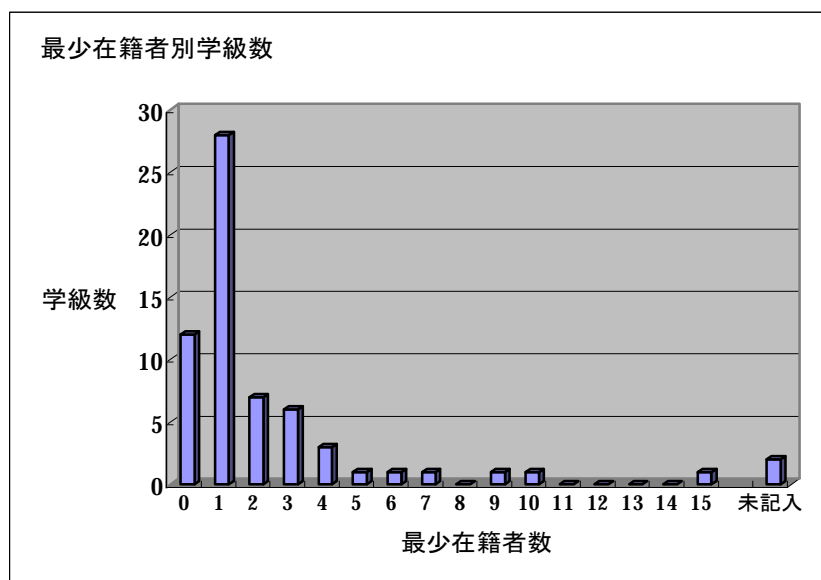
14年度の在籍児童生徒数による学級規模は以下の通りであった。

最少在籍者数を見ると、在籍者が0となる期間があった学級が12あった。

Table1-1-5 児童生徒在籍者数別学級数

Fig1-1-2

最少在籍者数	学級数
0	12
1	28
2	7
3	6
4	3
5	1
6	1
7	1
8	0
9	1
10	1
11	0
12	0
13	0
14	0
15	1
未記入	2
合計	64

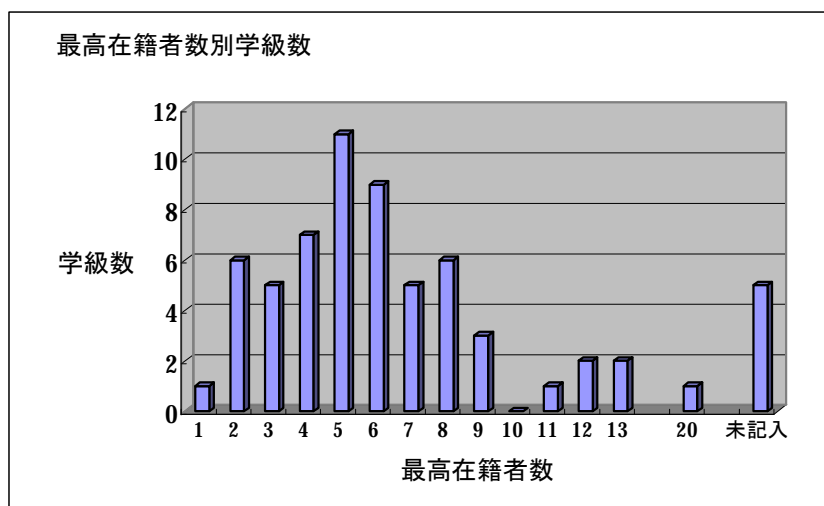


最高在籍者数を見ると、「5人」と答えた学級が最も多かった。

Table1-1-6 最高在籍者数別学級数

最高在籍者数	学級数
1	1
2	6
3	5
4	7
5	11
6	9
7	5
8	6
9	3
10	0
11	1
12	2
13	2
20	1
未記入	5
合計	64

Fig1-1-3



## 2. ICT 環境

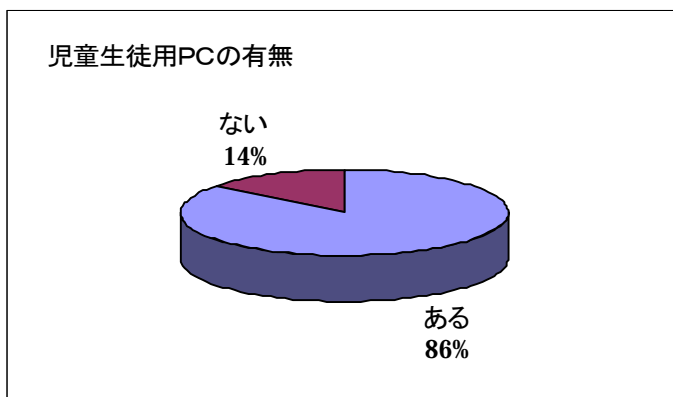
(1) 「院内学級に児童・生徒が使用できるパソコンはありますか？」との質問に対して、**86%**が「ある」、**14%**が「ない」と回答した。

Table1-2-1

### 児童生徒用 PC の有無

ある	55
ない	9
合計	64

Fig1-2-1



- ・「ない」の中に、教師の私物を使用させている（2件）、中学部のPCを借りている（1）を含む。
- ・児童生徒用のPCが無いと答えた9学級のうち、パソコン購入の要望を出しているのは6学級であった。
- ・児童生徒用のPCが「ある」と答えたうち、パソコン購入の要望を出しているのは3学級。その理由は、「現在使用しているPCの機種が古い（2）」、「デスクトップしか無いのでノートを要望している（1）」である。

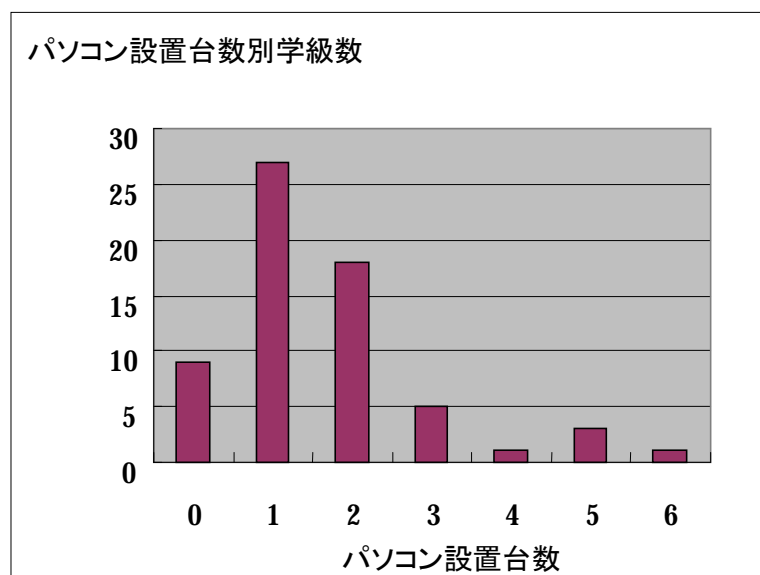
(2) 児童生徒が使えるPCの台数

以下のように、1台、2台という学級が大半をしめた。

Table1-2-2 パソコン設置台数別学級数

Fig1-2-2

パソコンの台数	学級数
0	9
1	27
2	18
3	5
4	1
5	3
6	1
合計	64



児童用パソコンに関して関連する記述を以下にまとめた。

- ・ 要望出していない: 予算がパソコンを買えるだけないので。また置くところもないので。  
ノート1台 個人所有
- ・ 回線 (CATV) はきているがパソコンがない。
- ・ 教師の私物のパソコンでインターネットにつないで学習を行っている。接続料金は私費  
「使用できるパソコンは、院内担任の私物のため、現在学校にはパソコン購入の要望を出している状態です。」
- ・ 児童用のパソコンではないが使わせている。
- ・ 中学部のパソコンを借りる。
- ・ デスクトップ1台 (のみ) : 私物で旧式ウインドウズ98
- ・ デスクトップ1台 (のみ) : 大変古いもので動きが遅くフリーズすることもよくあり購入希望を出している。
- ・ デスクトップが2台あるが、ベッドサイド学習に役立つためノートパソコンを要望

### (3) インターネット回線の有無

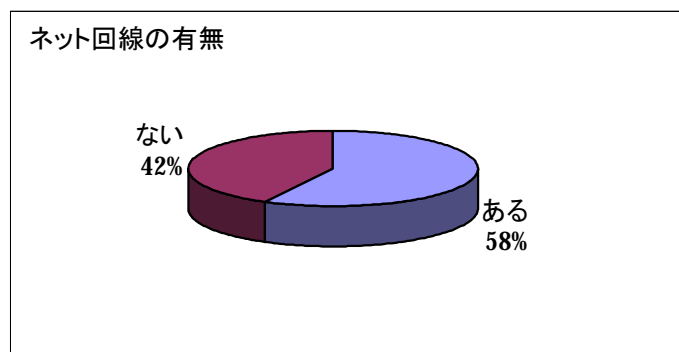
ネット回線の有無をたずねたところ、58%の学級に回線があり、42%の学級には回線がないことが分かった。

Table1-2-3

#### ネット回線の有無

ある	37
ない	27
合計	64

Fig1-2-3



「ある」の中に、回線はあるが接続できるPCが無い(1)、PCが古くて接続できない(1)を含む。

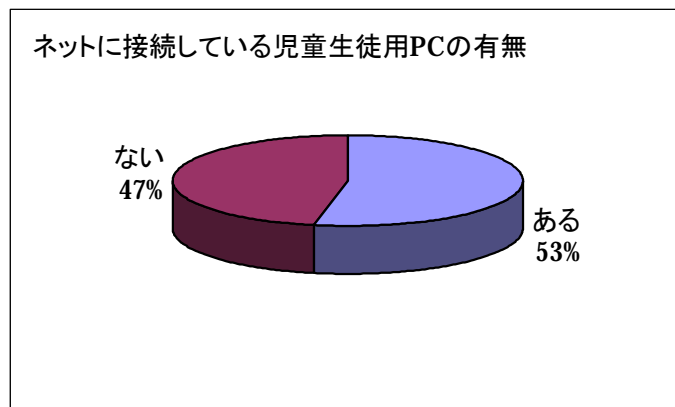
(4) 「ネットに接続している児童生徒用のPC」の有無は、以下のものであった。  
インターネット使用環境がある学級のは、53%にとどまっている。

Table1-2-4

ネットに接続している児童  
生徒用のPCの有無

ある	34
ない	30
合計	64

Fig1-2-4



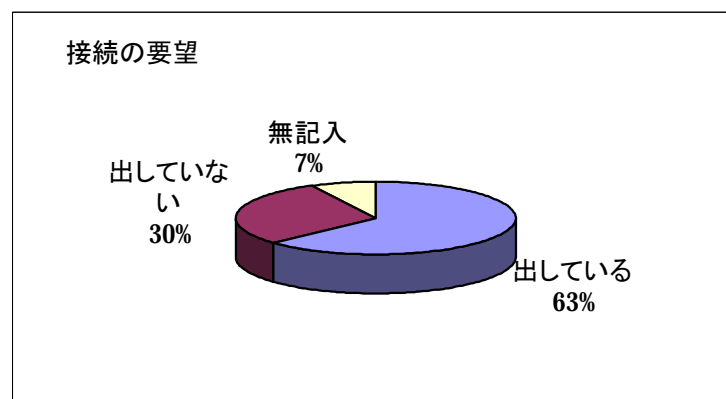
(5) インターネット接続の要望について

Table1-2-5

接続の要望

出している	17
出していない	8
無記入	2
合計	27

Fig1-2-5



回線が「ない」の27学級のうち、接続の要望を出しているのは17学級  
要望を出していないのは8学級、記入がなかったのは4学級

インターネット接続の要望に関連する記述には、以下のようなものがあった。

- ・ 「出していない」：かつては要望を出していたが、病棟の配線の関係で難しいと言われた。予算的な問題もある。
- ・ 電話回線が現在の病院の状況から無理なので。
- ・ 移動が可能な児童は別室（レントゲン室）でインターネットを利用させていただいている。
- ・ 「出していない」：新しいパソコンが購入できるなら、ネット接続もお願いしようと考え

えている。

- ・ 病院としてはいつでも接続してくれる用意があるが、使用しているパソコンが学校の余分（Windows 9 5）のため現在接続不可
- ・ 「出している」：「電話等、病院の予算内で行っているののでどのように要望を出すか難しいが」

#### （6）回線の施設者

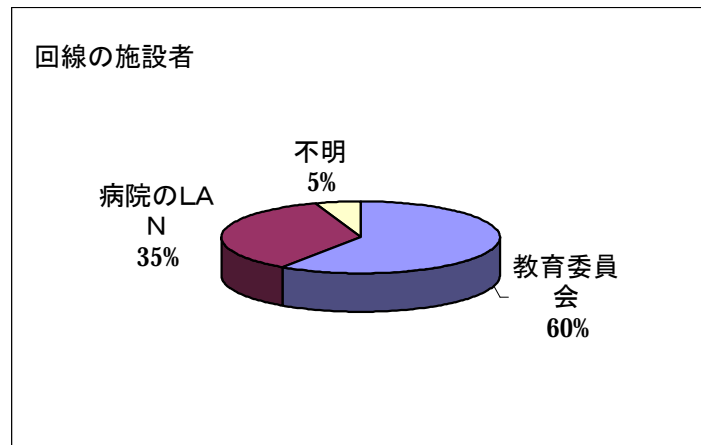
回線が「ある」と答えた 37 学級に回線の施設者について質問したところ、「教育委員会」が 60%であり、病院の施設した LAN に接続している、あるいは接続可能なケースは 35%であった。

Table1-2-6

#### 回線の施設者

教育委員会	22
病院のLAN	13
不明	2
合計	37

Fig1-2-6





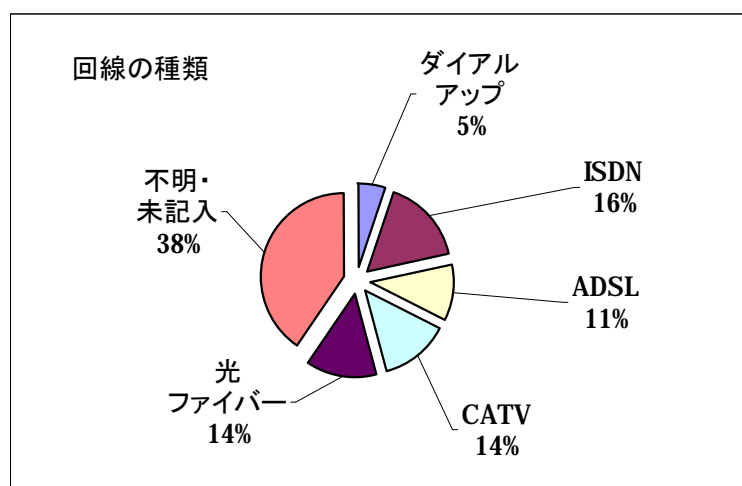
(7) 回線の種類

回線の種類は、以下のように様々であった。「？」マークを記入していたケースも多くあった。教員が回線についてあまり詳しく知らない、あるいは興味がないのが理由と思われる。

Table1-2-7

ダイヤルアップ	2
ISDN	6
ADSL	4
CATV	5
光ファイバー	5
不明・未記入	15
合計	37

Fig1-2-7



### 3. 児童生徒の活用

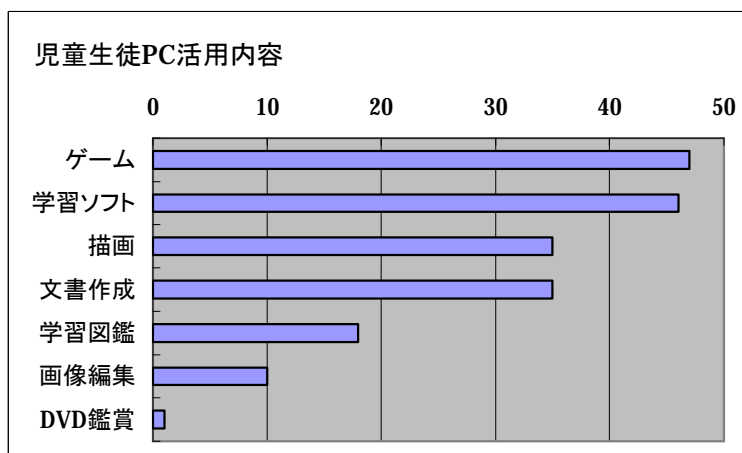
(1) 「子どもたちはどのようにパソコンを活用していますか？」(該当を○)

CD-ROM 学習ソフト CD-ROM 図鑑 描画 文書作成 画像編集 ゲームの8項目を挙げ該当に○をつける複数回答とし、その他の欄に自由に記述をしてもらったところ、以下のような結果を得た。「ゲーム」「学習ソフト」の活用が多く、次いで「描画」「文書作成」であった。

Table1-3-1

ゲーム	47
学習ソフト	46
描画	35
文書作成	35
学習図鑑	18
画像編集	10
DVD鑑賞	1

Fig1-3-1



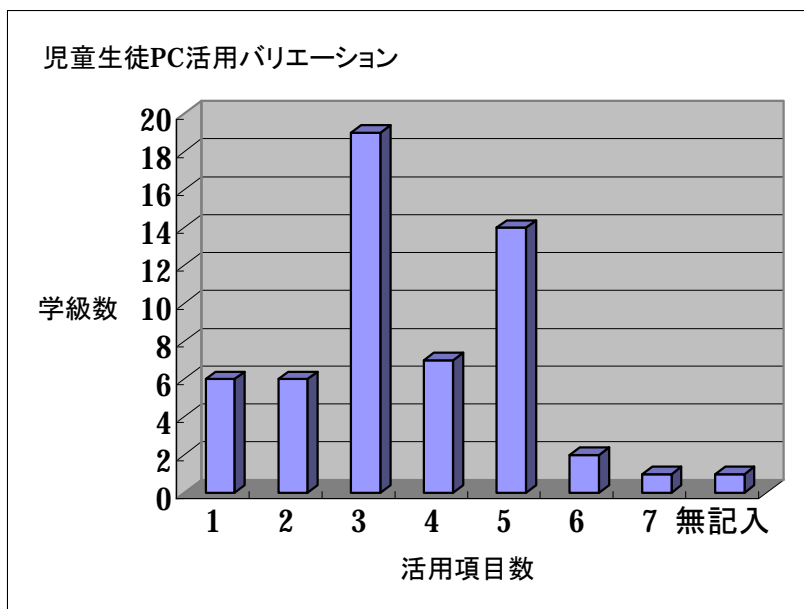
また、いくつ項目を選択及び自由記述欄に記述したかを、「活用バリエーション」として調べたところ、以下のように、3項目を選んだ学級が最も多かった。

Table1-3-2

児童生徒PC活用  
バリエーション

項目数	学級数
1	6
2	6
3	19
4	7
5	14
6	2
7	1
無記入	1
合計	56

Fig1-3-2



教師の私物PCを児童生徒に使わせている学級の回答を含む。

(2)「子どもたちはどのようにインターネットを活用していますか？」(該当を○)

(院内学級のパソコンがインターネットにつながっている場合)

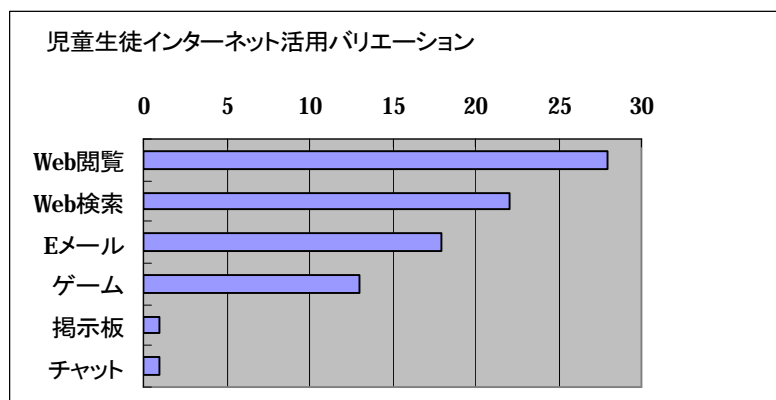
Web 閲覧 (ホームページを見る) Eメール Web 検索 ゲーム 掲示板 チャット の 6項目を挙げ該当に○をつける複数回答とし、その他の欄に自由に記述をしてもらったところ、以下のような結果を得た。「Web 閲覧」が最も多く、次いで「Web 検索」であった。

Table1-3-3

児童生徒インターネット  
活用内容(複数回答)

Web 閲覧	28
Web 検索	22
Eメール	18
ゲーム	13
掲示板	1
チャット	1

Fig1-3-3



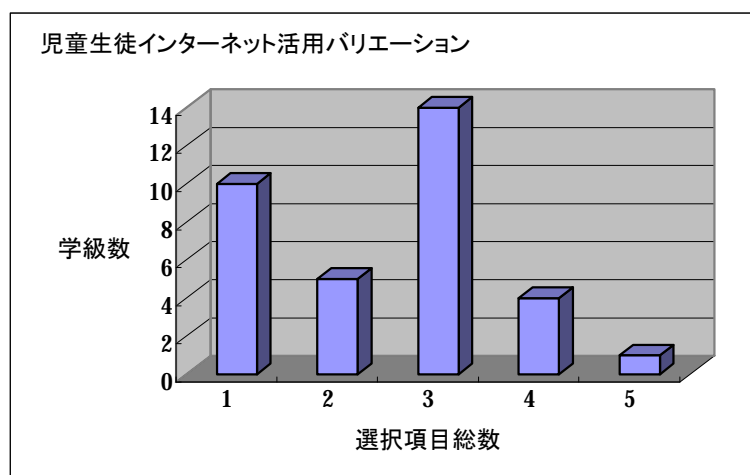
また、いくつ項目を選択及び自由記述欄に記述したかを、「活用バリエーション」として調べたところ、以下のように、3項目を選んだ学級が最も多かった。

Table1-3-4

児童生徒インターネット活用バリエーション

項目数	学級数
1	10
2	5
3	14
4	4
5	1
合計	34

Fig1-3-4



また、以下のシチュエーションでインターネット活用に有効性を認める記述があった。

- ・ 前籍校担任とのメール
- ・ 退院していった家族とのメール

#### 4. 情報発信

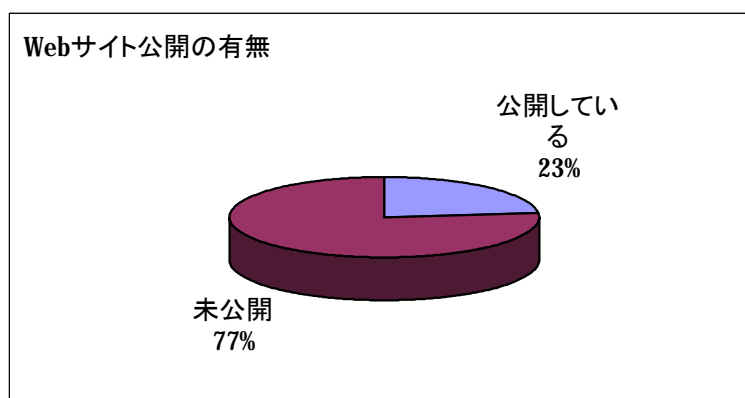
(1) 「院内学級の Web サイト（ホームページ）は公開していますか？」という質問に対して、「公開している」は23%にとどまり、77%が未公開であることが分かった。

Table1-4-1

Web サイト公開

公開している	15
未公開	49
合計	64

Fig1-4-1



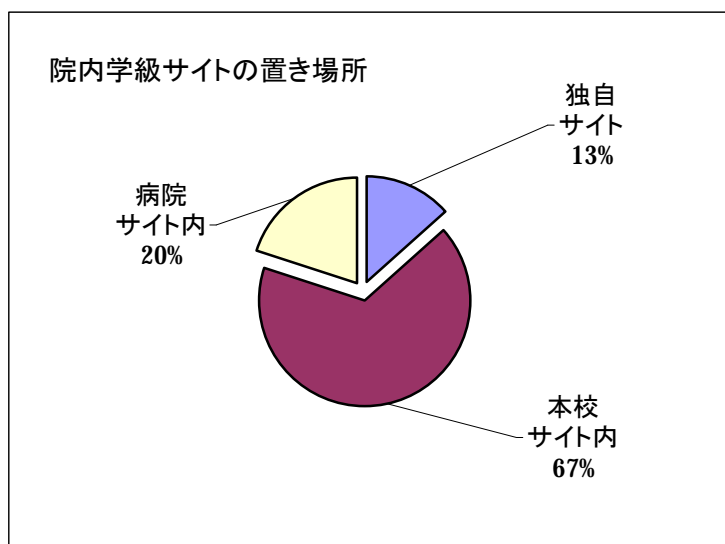
## (2) サイトの場所

「公開している」と回答した 15 学級に、院内学級のサイトがどこに置かれているかを質問したところ、以下のように「本校サイト内」に院内学級のコーナーがあるケースが多く、次いで「病院サイト内」であった。独自サイトを運営している学級は、わずか2学級のみであった。

Fig1-4-2

Table1-4-2  
サイトの置き場所

独自サイト	2
本校サイト内	10
病院サイト内	3
合計	15



## 5. 回答者（院内学級担当教員）のスキル

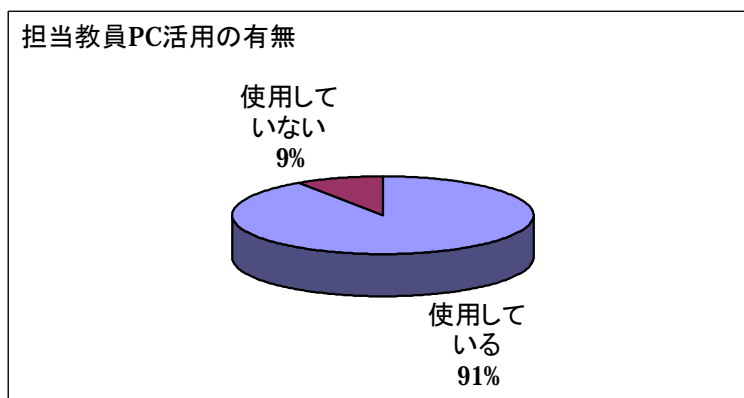
### (1) パソコンの使用について

アンケートの回答者である教師個人のパソコン使用について質問したところ、90%以上が「使用している」と回答した。

Table1-5-1 担当教員使用有無

Fig1-5-1

使用している	58
使用していない	6
合計	64



(2) 活用の内容について、文書作成 教材研究 教材作成 画像編集 VTR 編集 描画の 6 項目を挙げ該当に○をつける複数回答とし、その他の欄に自由に記述をしてもらったところ、以下のような結果を得た。最も多かったのは、文書作成で次に教材作成、画像編集、教材研究が続いた。

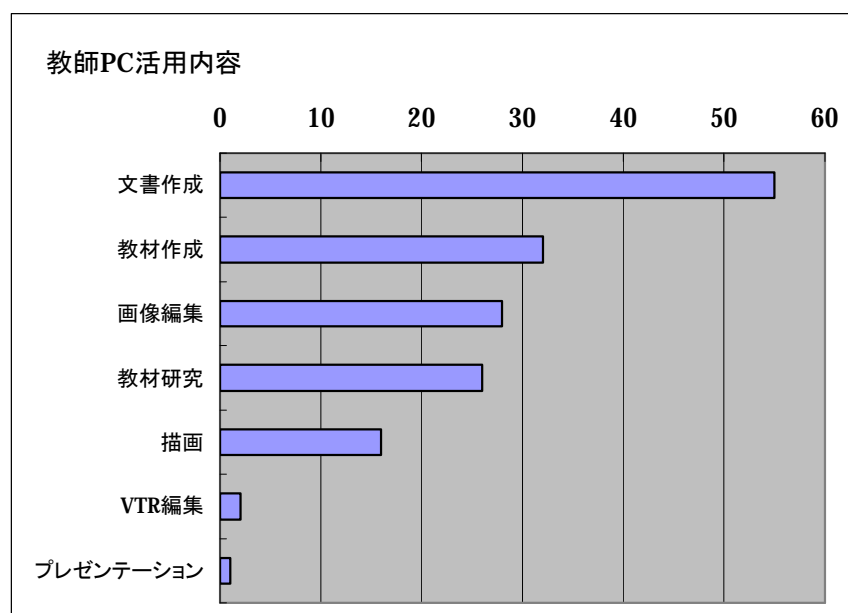
Table1-5-2

教師 PC 活用内容

(複数回答)

文書作成	55
教材作成	32
画像編集	28
教材研究	26
描画	16
VTR 編集	2
プレゼンテーション	1

Fig1-5-2



また、いくつ項目を選択及び自由記述欄に記述したかを、「活用バリエーション」として調べたところ、以下のように、4 項目を選んだ教員が最も多かった。

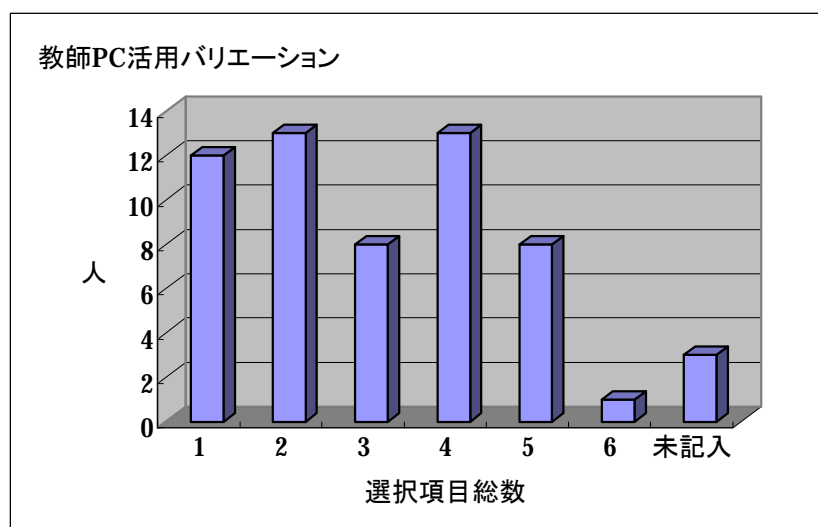
Table1-5-3

教師 PC 活用

バリエーション

選択項目数	人数
1	12
2	13
3	8
4	13
5	8
6	1
未記入	3
合計	58

Fig1-5-3



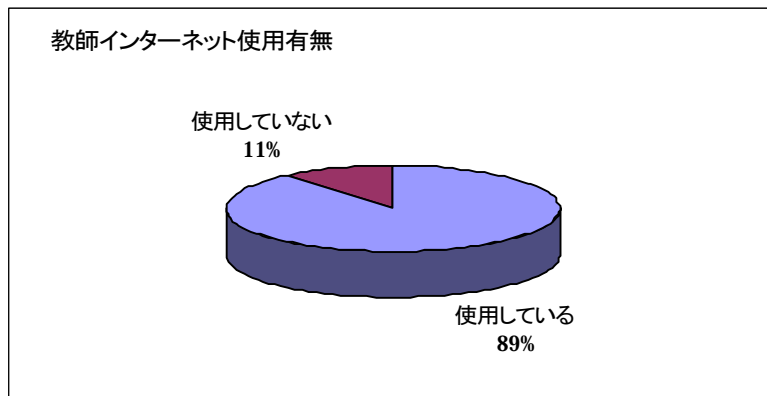
(3) インターネットの使用について質問したところ、**89%**が「使用している」と回答した。

Table1-5-4

**教師インターネット  
使用有無**

使用している	57
使用していない	7
合計	64

Fig1-5-4



(4) インターネットの活用内容について

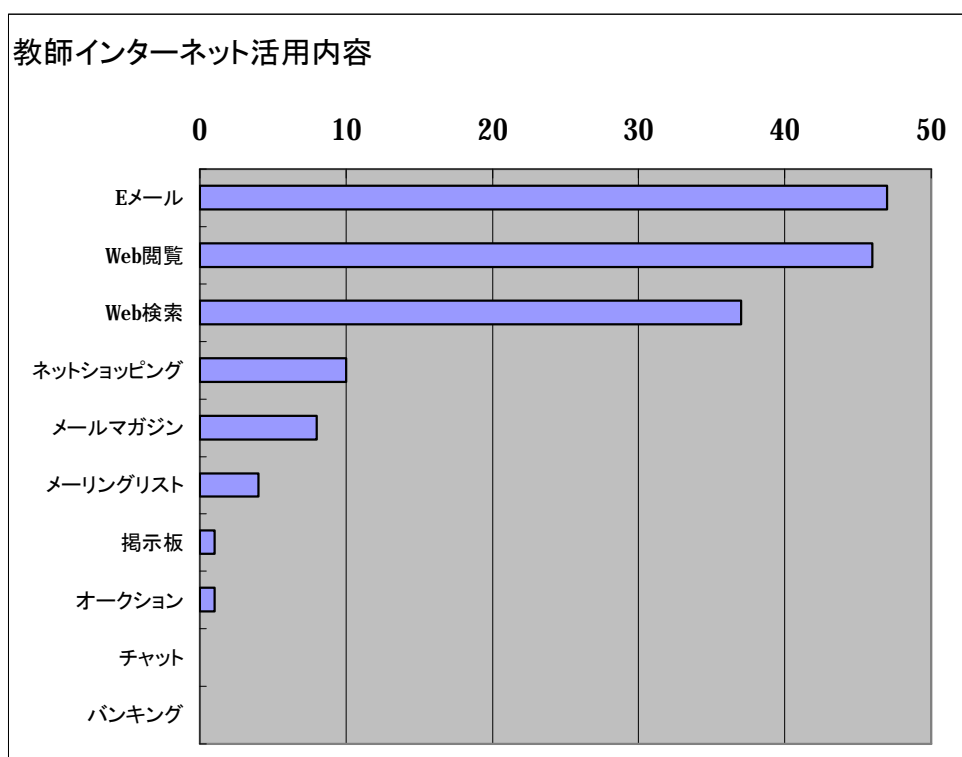
**Web** 閲覧 (ホームページを見る) Eメール **Web** 検索 メールマガジン メーリングリスト 掲示板 チャット ネットショッピング ネットバンキング オークションの **10** 項目を挙げ該当に○をつける複数回答とし、その他の欄に自由に記述をしてもらったところ、以下のような結果を得た。最も多かったのは、**E** メールで、次に **Web** 閲覧、**Web** 検索と続いた。

Table1-5-5

**教師インターネット活用内容  
(複数回答)**

Eメール	47
Web 閲覧	46
Web 検索	37
ネットショッピング	10
メールマガジン	8
メーリングリスト	4
掲示板	1
オークション	1
チャット	0
バンキング	0

Fig1-5-5



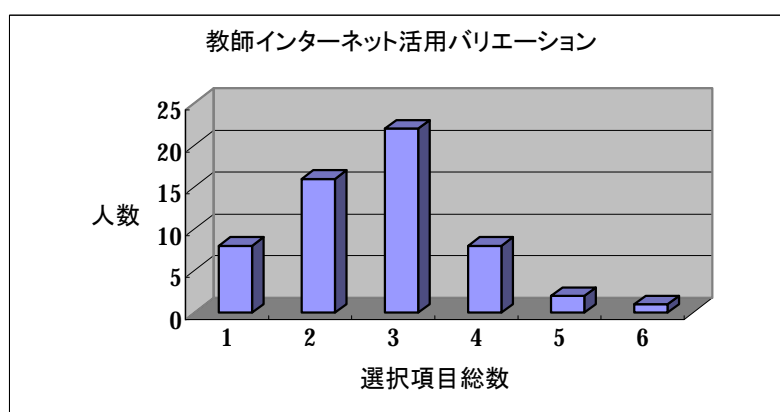
また、いくつ項目を選択及び自由記述欄に記述したかを、「活用バリエーション」として調べたところ、以下のように、**3**項目を選んだ教員が最も多かった。

Table1-5-6

教師インターネット  
活用バリエーション

選択項目数	人数
1	8
2	16
3	22
4	8
5	2
6	1
合計	57

Fig1-5-6



(5) 専門研修について

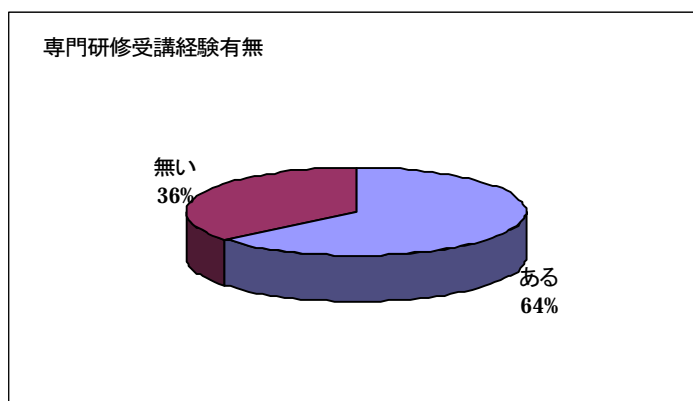
「情報教育に関する専門研修を受けたことがある。」と回答したのは、64%であった。

Table1-5-7

受講経験有無

ある	41
無い	23
合計	64

Fig1-5-7



研修内容について記述してもらったところ、以下のような結果を得た。

研修の主催について記述があったものは、下記の通りであった。

Table1-5-8

研修主催者

教育委員会主催	9
校内研修	6
夏期研修	1
企業による教員支援研修	1

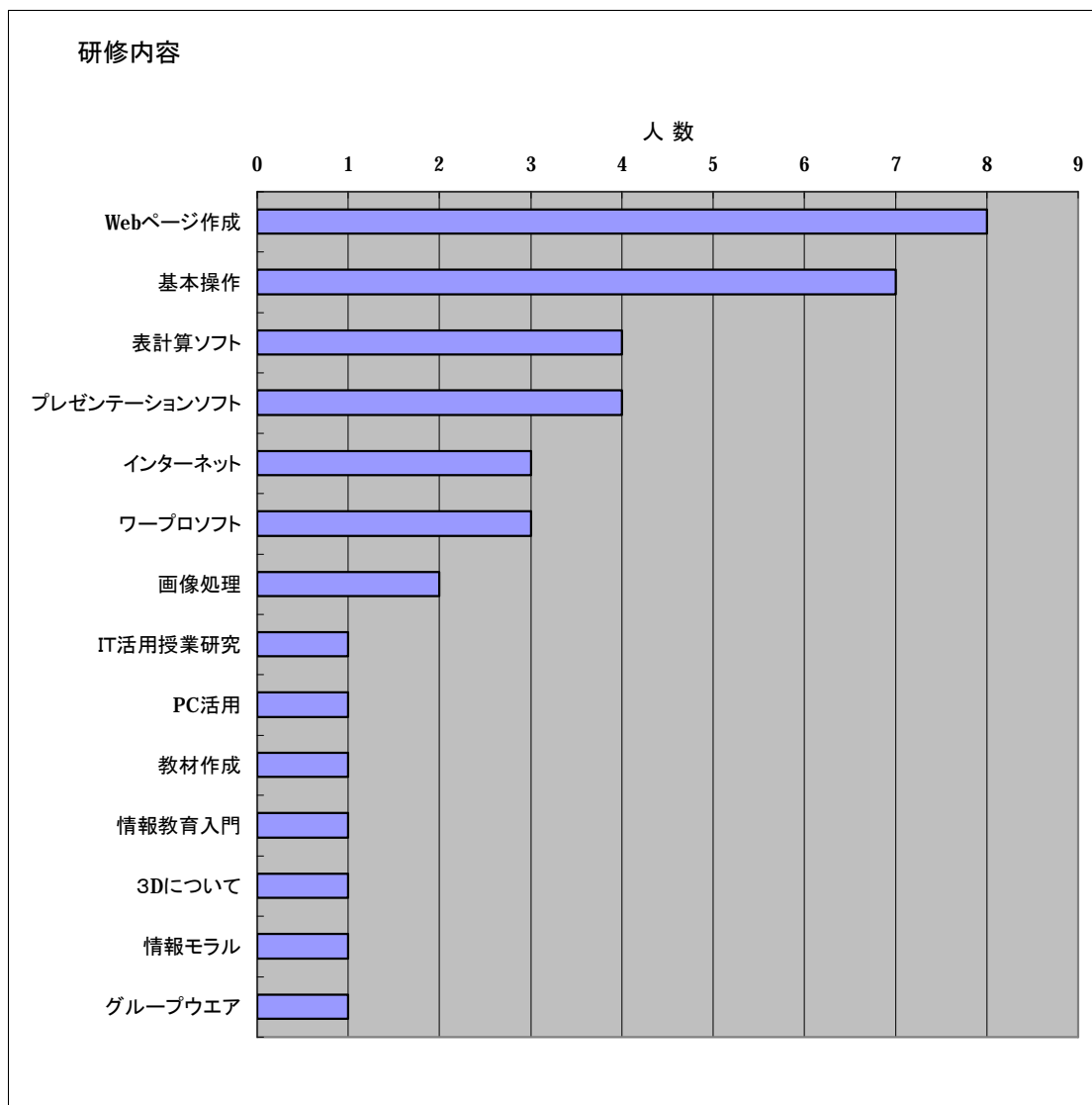
Table2-5-9

研修内容(複数回答)

Web ページ作成	8
基本操作	7
表計算ソフト	4
プレゼンテーションソフト	4
インターネット	3
ワープロソフト	3
画像処理	2
IT活用授業研究	1
PC 活用	1
教材作成	1
情報教育入門	1
3D について	1
情報モラル	1
グループウェア	1



Fig1-5-8



「研修を受けたことがない」という **23** 名に受講の要望について質問したところ、**80%**以上にあたる **19** 名が研修を希望していた。

「これまで研修を受けることができなかった主な理由は何ですか。」という質問に対して、以下のような記述を得た。

「要望あり」と回答した教員の記述

- ・ 受けたことがない：それほど強い必要性を見いだしていなかった。
- ・ 意識がその分野に向いていなかった。
- ・ そういう機会がなかった事と参加する時間が確保できない。
- ・ 校内で簡単なものはうけましたが、「専門的な」と言えるものは受けたことがありませ

ん。どんな研修をうけ、どう生かせば院内学級で利用する良さがあるか考えることができていなかったと思います。

- ・ 講座・研修開催の有無を把握できていないため。
- ・ 機会がなかった。
- ・ 忙しさ。
- ・ 日程があわずに機会がなかった。

「要望あり」と回答しなかった教員の記述

- ・ 申し込んでも行けない場合がある。日程が合わない。
- ・ 授業に穴をあけられず（手一杯で）外で研修を受ける機会は極端に少ない。
- ・ 専門という程ではありませんが校内研修で充分と思っていました。
- ・ 時間的余裕がなかった。

## 6. 有効性についての担当教員の評価

以下の質問に該当する答えを○で囲んでください。

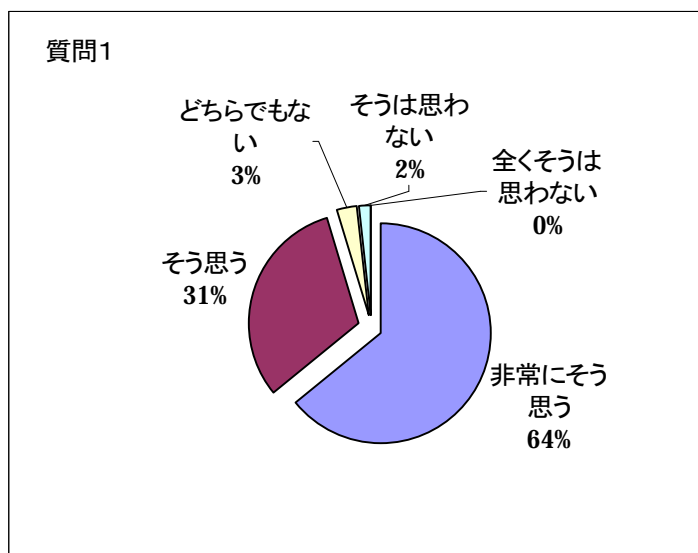
(1) 院内学級の子どもたちにとって、パソコンは有効な道具である。

非常にそう思う そう思う どちらでもない そうは思わない 全くそう思わない

Table1-6-1

非常にそう思う	41
そう思う	20
どちらでもない	2
そうは思わない	1
全くそうは思わない	0
合計	64

Fig1-6-1



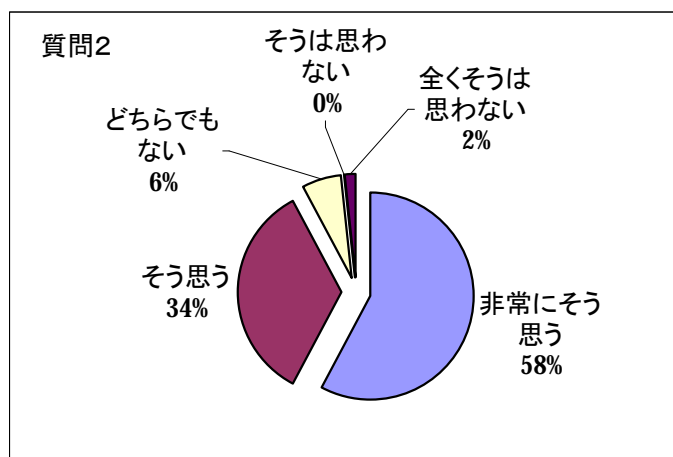
(2) 院内学級の子どもたちにとって、インターネットは有効な手段である。

非常にそう思う そう思う どちらでもない そうは思わない 全くそう思わない

Table1-6-2

非常にそう思う	37
そう思う	22
どちらでもない	4
そうは思わない	0
全くそうは思わない	1
合計	64

Fig1-6-2



- ・ 心身症的傾向の子がメールやインターネットで外に目を向けることができ退院してきました。
- ・ 人数が少なく、長期入院児も多く閉鎖的なので、教育委員会にお願いしてインターネットができるようにしてホームページもつくりました。どこかの子どもたちとメール交換やチャットができたらと思っているところです。

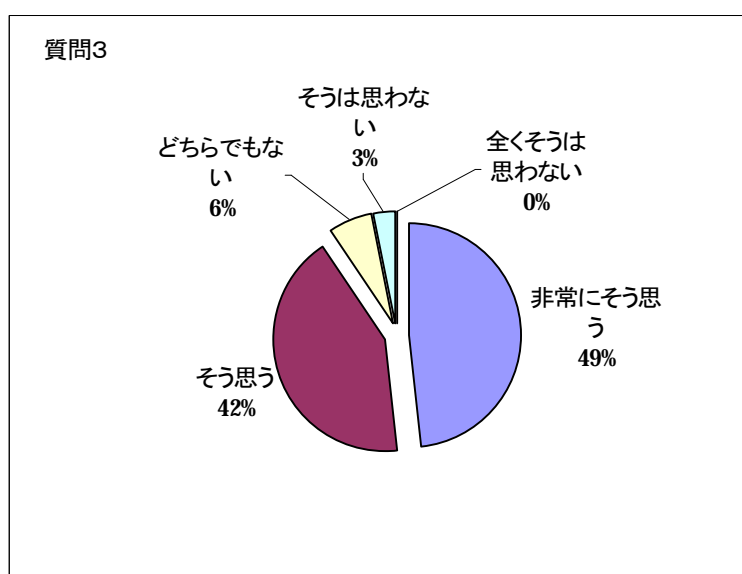
(3) 院内学級の担当者にとってパソコンは有効な道具である。

非常にそう思う そう思う どちらでもない そうは思わない 全くそう思わない

Table1-6-3

非常にそう思う	31
そう思う	27
どちらでもない	4
そうは思わない	2
全くそうは思わない	0
合計	64

Fig1-6-3



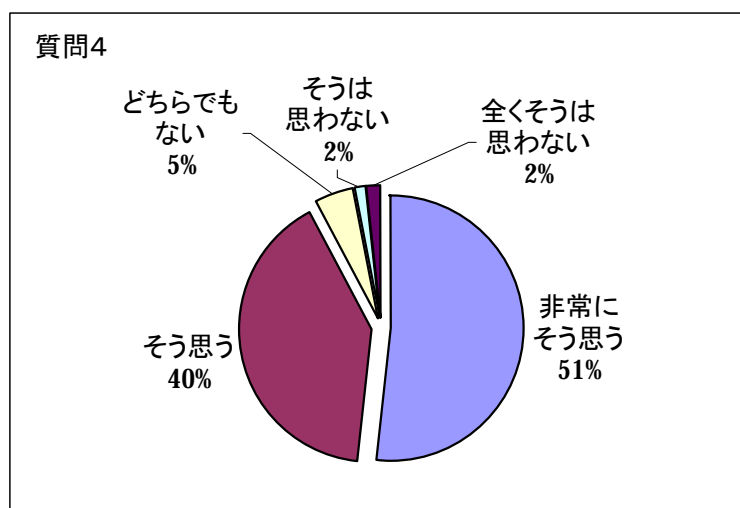
(4) 院内学級の担当者にとってインターネットは有効な手段である。

非常にそう思う そう思う どちらでもない そうは思わない 全くそう思わない

Table1-6-4

非常にそう思う	33
そう思う	26
どちらでもない	3
そうは思わない	1
全くそうは思わな い	1
合 計	64

Fig1-6-4



- ・ パソコンは今回いいものを買ってもらったので活用しなければと思っているのですが、なかなか私自身のレベルが・・・という感じです。
- ・ 院内の子どもにとって、パソコンは有効だと思うのですが、パソコンを使い切れていない面もあると思います。教師の努力が必要だと感じています。
- ・ 担当者にとって有効とは思わない：「苦痛です」
- ・ 使いこなせていなく恥ずかしいです。機器が苦手です。
- ・ パソコンはあまり得意ではない。

各質問の答えに対し、以下のようにポイントをつけ、回答者ごとに4問の合計点を調べた。その結果、4つの全ての質問に対し、「非常にそう思う」を選択した（8ポイント）教員が 27 名と最も多く、平均して「そう思う」（4ポイント）以上のポイントをつけた教員は 57 名で、全体の 89%であった。

Table1-6-5

非常にそう思う	2
そう思う	1
どちらでもない	0
そうは思わない	-1
全くそう思わない	-2

Table1-6-6

有効度ポイント

ポイント	人
8	27
7	4
6	8
5	3
4	15
3	1
2	3
1	0
0	1
-1	1
-2	0
-3	0
-4	0
-5	0
-6	1
-7	0
-8	0
合計	64

Fig1-6-5

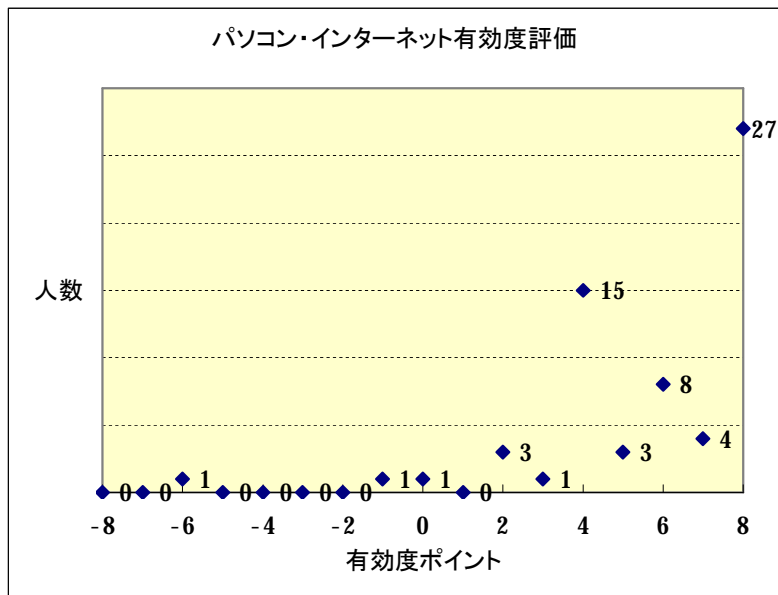


Fig1-6-6

